

## 技術審査証明1

### 技術名称 **VSL永久アンカー工法 (SP型)**

技術の詳細に関するURL <http://www.vsl-japan.co.jp>

#### 技術の特徴・概要

VSL永久アンカー工法は、1958年スイスのロージ  
ンガー社が開発した緊張定着システムであるVSL工  
法を適用したグラウンドアンカー工法です。

SP型は従来のものと基本的な構造、使用材料、施  
工法および耐久性は同一ですが、1本の注入パイ  
プ (Single Pipe) でコルゲートシースの内部・外部を  
確実にグラウト注入できるシステムに改造し、コル

ゲートシースの径および削孔径の細径化により、コ  
スト削減をはかったVSL永久アンカー工法です。

特徴はテンドン全長がフレキシブルなコルゲート  
シースで被覆されています。そのため、化学腐食や  
電気腐食などを防止し、長期にわたり、強度と耐久  
性を維持します。

#### 現地での施工状態や技術が活用されている図・写真、コメント等



インナーグラウト



アウトターグラウト

#### 実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題等について

グラウト注入に際し、SP型では、グラウトアダ  
プターおよびスリーブバルブを使用します。

今回、現場のさまざまな状況に対応するため、こ  
の部分の改良を実施しました。

すなわち、グラウトアダプターは内かん合に加え

て、外かん合のものを作り、長さ変更に対応できる  
ようにしました。また、スリーブバルブは注入パイ  
プの内側にスリーブを差し込んでいたのを反対にし  
て、断面欠損をなくし、グラウトがスムーズに流れ  
るようにしました。

#### 技術のPRポイント、得意とする現場条件や他工法と比較して有利な点など

VSL永久アンカーはコルゲートシースで覆われて  
いるため、エポキシ被覆にくらべ、作業中に傷がつ  
く心配はありません。また、地表面の凹凸に緊張余

長の範囲内で簡単に対応できます。さらに、迷走電  
流が懸念される地盤でも心配ありません。